

<p>1 部の 使命</p>	<p>危機管理室は、全ての市民と養父市を訪れる人々へ、多種多様な情報と災害に強く安全・安心なやぶぐらしを提供することができるようノウハウの蓄積と最新の技術をもって、あらゆる危機管理と容易に情報を受け取ることができる環境整備を市民協働により早期に実現します。</p> <p>【評価】 【原因】 【方向】</p>
<p>2 それ まで の経 営評 価</p>	<p>【評価】 【原因】 【対応】</p>
<p>3 外部 環境</p>	<p>◎機会 【政治】自治体DXの推進、法改正に伴う対応 【社会】情報化社会の進展、自然災害への対応 【市民】市民ニーズの多様化 ▼脅威 【経済】コロナ禍における地元企業の現状 【地域】高齢化によるコミュニティの衰退 【市民】市民協働の低下 【競争】市民の変化と障壁</p>
<p>4 内部 環境</p>	<p>○強み 【使命】使命が明確になり組織力の強化 【政策】新規事業の立案力 【協働】コミュニティ、関係機関との連携 【市民】地域コミュニティの強さ ▽弱み 【市民】ニーズの変化への対応 【計画】政策形成の見直し 【情報】情報発信力の不足 【経費】新事業、予算の縮小</p>
<p>5 重要 経営 課題</p>	<p>【経営】部長の部経営者としての能力向上 【協働】さらなる市民との協働、関係機関との連携の強化 【人材】OJTによる人材育成の推進 【情報】市民等に向けての情報発信、情報提供の検討</p>

6 部の 経営 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課：情報課、防災安全課、 ・人員：情報課8名、防災安全課4名 ・予算：情報課74,339千円、防災安全課 217,523千円
7 部の 経営 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練参加者数：15,000人 ・自主放送番組の作成本数：50本 ・出前講座の実施：20回 ・広報コンクール入選 ・市職員を対象に防災研修及び訓練の実施：5回 ・職員からのイントラ依頼対応件数：300件以内
8 部の 経営 方針	<ul style="list-style-type: none"> 【市民】市民から信頼される危機管理室を目指す 【経営】全庁横断的経営 【政策】政策推進による市民評価の向上 【協働】市民協働の積極的推進 【人材】マネジメントの完全実施 【改善】P D C Aサイクルによる業務改善
9 部の 重要 政策 の取 組内 容	<ul style="list-style-type: none"> 【新規】・A Iチャットボットの活用と充実 <ul style="list-style-type: none"> ・各種計画の見直し ・自治体D X推進計画への対応 【拡大】・「一斉避難訓練の実施」目標／参会者15,000人（計画1,1000人）。 【強化】・新入消防団員の確保 ・関係機関及び市民との連携 【改良】・防災意識の高揚 ・分散勤務等ネットワークの構築 【廃止】・養父市の魅力発信アプリ
10 経営 の仕 組み に関 する 取組 内容	<ul style="list-style-type: none"> 【政策】 <ul style="list-style-type: none"> ◆市民の防災意識の高揚を図り、安全・安心な養父市を目指す。 ◆複数の目的を同時に追求し、多角的に業務の推進を図る。 【組織・業務】 <ul style="list-style-type: none"> ◆複数の人員が合理的に業務を行う組織体制の構築。 ◆月2回程度の部内会議の実施。 【能力】 <ul style="list-style-type: none"> ◆人材育成基本方針の活用やO J Tの強化等により、部職員の市民起点の人材育成を推進する。 ◆積極的な職員研修を実施し、職員の能力向上を目指す。 【情報】 <ul style="list-style-type: none"> ◆課内の業務を複数職員で情報共有し、業務の停滞を防止する。